

福山駅前広場協議会分科会 (遺構を生かした空間検討)

福山駅前 再生ビジョン 2018.3

(資料2) 事務局説明資料

2023

8/30

WED

池田 圭次

福山市 建設局参事
兼 福山駅周辺再生推進部長

本日のプログラム

13:00-13:35 開会挨拶・事務局説明 (35分)

13:35-14:55 ディスカッション (80分)

14:55-15:00 閉会挨拶 (5分)

1. 福山駅前広場の変遷について
2. 福山駅周辺の実組について
3. 福山駅前広場の検討状況について
4. 遺構を生かした空間づくりについて

- 1. 福山駅前広場の変遷について**
2. 福山駅周辺の取組について
3. 福山駅前広場の検討状況について
4. 遺構を生かした空間づくりについて

1. 福山駅前広場の変遷について

👉 町中心部への鉄道敷設計画， 山陽鉄道・新幹線の開通へ

- 1888年（明治21年）
町中心部への鉄道敷設計画



- 1891年（明治24年）
山陽鉄道開通



- 1945年（昭和20年）
戦災からの復興と市街地の形成



- 1975年（昭和50年）
新幹線の開通と新駅舎の完成



1. 福山駅前広場の変遷について

👉 都市交通を取り巻く環境の変化

- 2000年（平成12年）
福山駅周辺整備推進協議会を設置

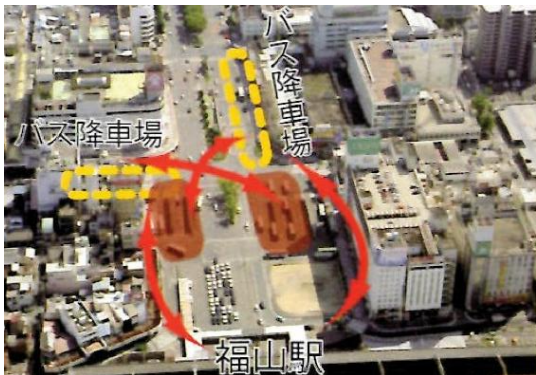
バス・タクシー・一般車のふくそう



進入してきた方向に戻れない送迎場



不便で利用しにくいバス乗降場



危険な右側乗降式の送迎場



1. 福山駅前広場の変遷について

👉 外堀遺構の発掘，地下送迎場の位置・形状の見直しへ

● 2007年（平成19年）
第1次発掘調査

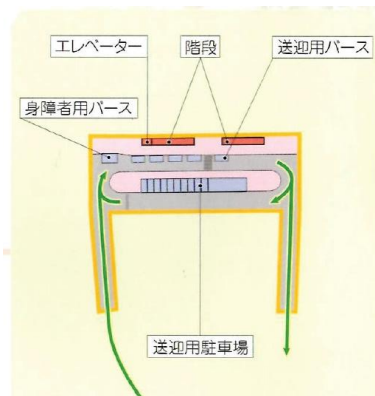
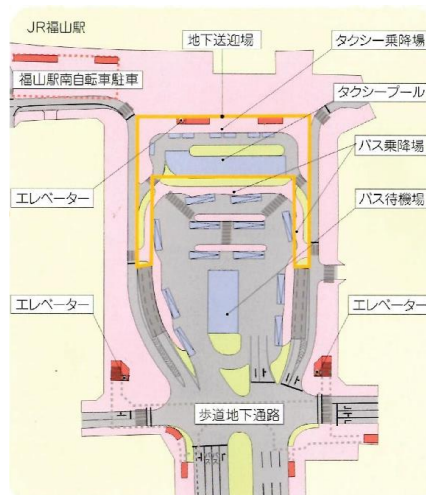


● 2008年（平成20年）

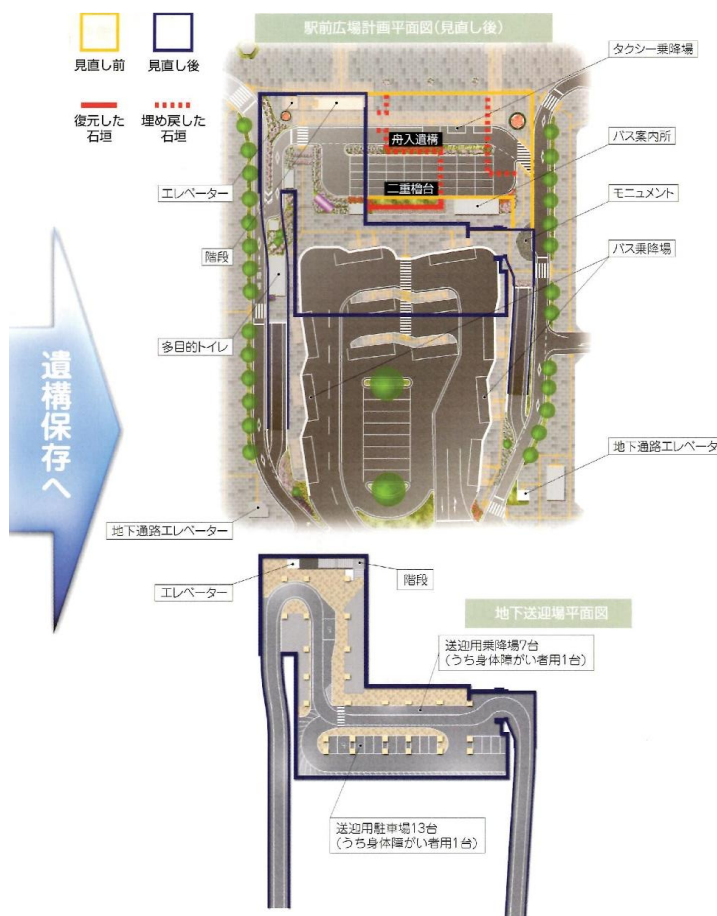
● 2008年（平成20年）
第2次発掘調査



見直し前



見直し後



1. 福山駅前広場の変遷について

👉現在の福山駅前広場の完成

●2012年（平成24年）



1. 福山駅前広場の変遷について

駅前広場に求められる役割が変化してきています

駅前広場は市街地形成や交通体系と深い関わりをもって変化してきました。

現在では、「交通機能の利便性やサービス向上に対応する広場」や「活動の拠点、あるいは都市の玄関口としての情報提供やシンボリックな空間の機能などを併せ持つ広場」、「福祉への配慮に対応できる広場」などへと、その役割が変化してきています。

実施した福山駅前広場の機能検証の結果では、現在の駅前広場には交通結節機能と都市の広場機能はあるものの、**交通結節機能の改善と人々が憩い、集い、くつろぐための都市の広場機能の充実が求められている**ことが示唆されています。

1. 福山駅前広場の変遷について
2. 福山駅周辺の取組について
3. 福山駅前広場の検討状況について
4. 遺構を生かした空間づくりについて

2. 福山駅周辺の取組について

👉 福山駅前再生ビジョンと福山駅周辺デザイン計画の策定

2018年3月

「福山駅前再生ビジョン」の策定

めざす福山駅前の姿

「“働く・住む・にぎわい”が
一体となった福山駅前」



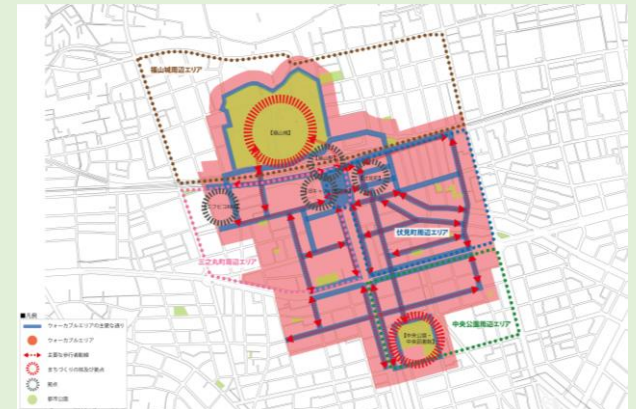
ビジョン実現に向けた基本計画



2020年3月 「福山駅周辺デザイン計画」の策定

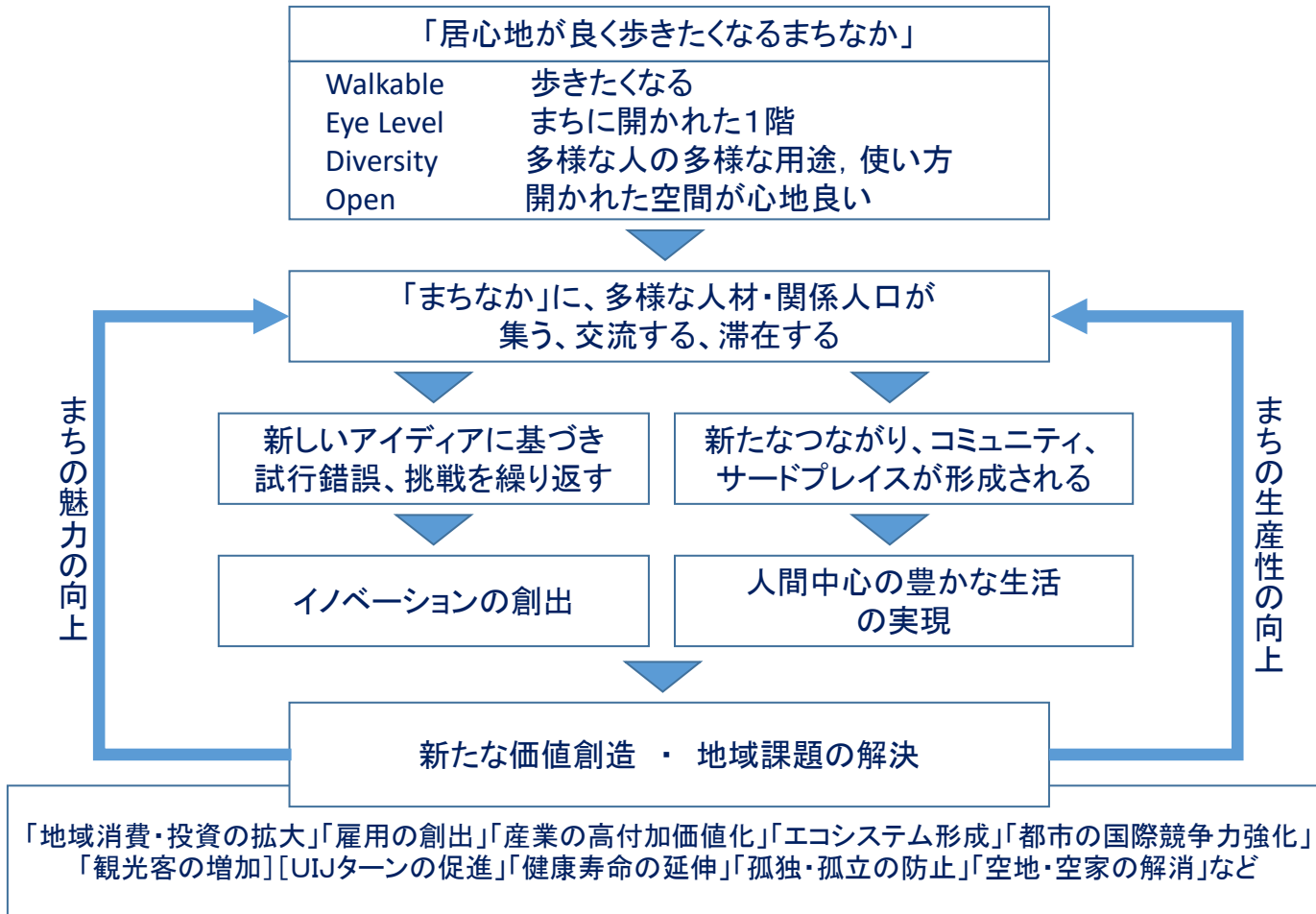
「ウォーカブルなまちづくり」

「居心地が良く歩いて楽しい空間」へと転換



2. 福山駅周辺の取組について

👉 ウォーカブルなまちづくりは新たな価値創造や地域課題の解決につながる



公園を活用した事例（中央公園）



道路を活用した事例（アイネス前の歩道）



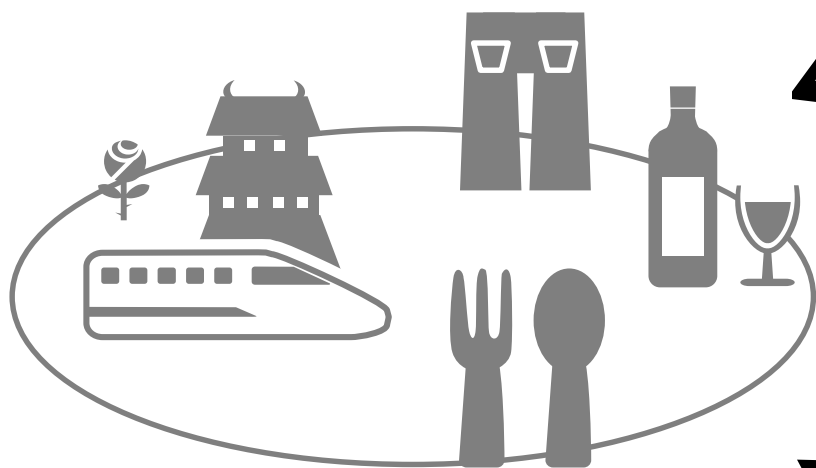
参考：都市の多様性とイノベーションの創出に関する懇談会（国土交通省）資料

2. 福山駅周辺の取組について

👉 市域全体の一体的な発展をめざしています

福山駅前

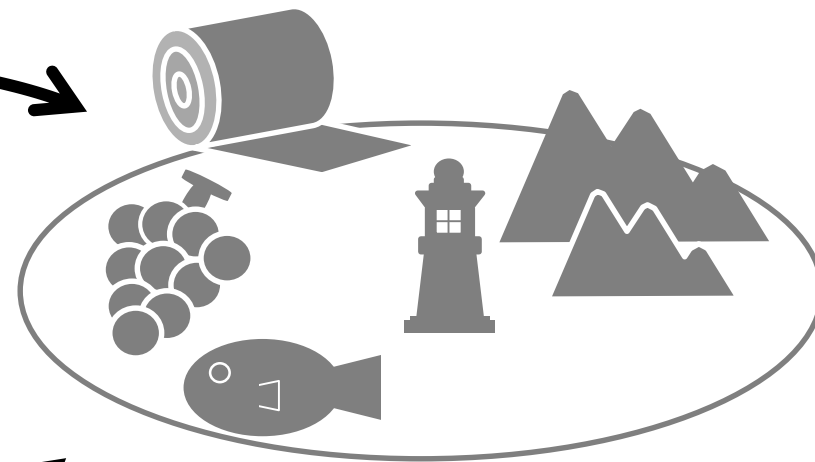
周辺地域の潜在資源を福山の魅力として表現・発信する



周辺地域

(福山市の北部・南部・東部・西部地域など)

周辺地域内の経済循環を活性化



ヒト・モノ・カネ・情報がつながる

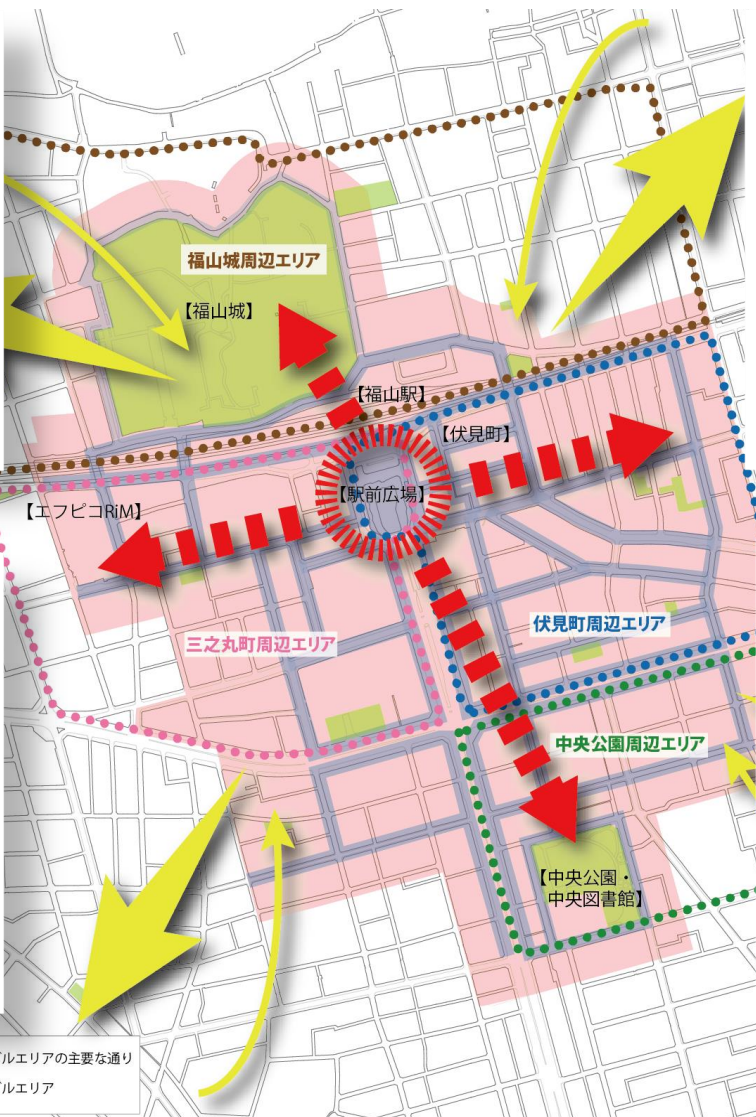
周辺地域の潜在資源を発見・活用



交通機能によりつながる

2. 福山駅周辺の取組について

👉 福山駅周辺のまちに変化が起こり始めています



1. 福山駅前広場の変遷について
2. 福山駅周辺の取組について
3. 福山駅前広場の検討状況について
4. 遺構を生かした空間づくりについて

3. 福山駅前広場の検討状況について

👉 現在の福山駅前広場の問題点や課題を考えるため検討を開始

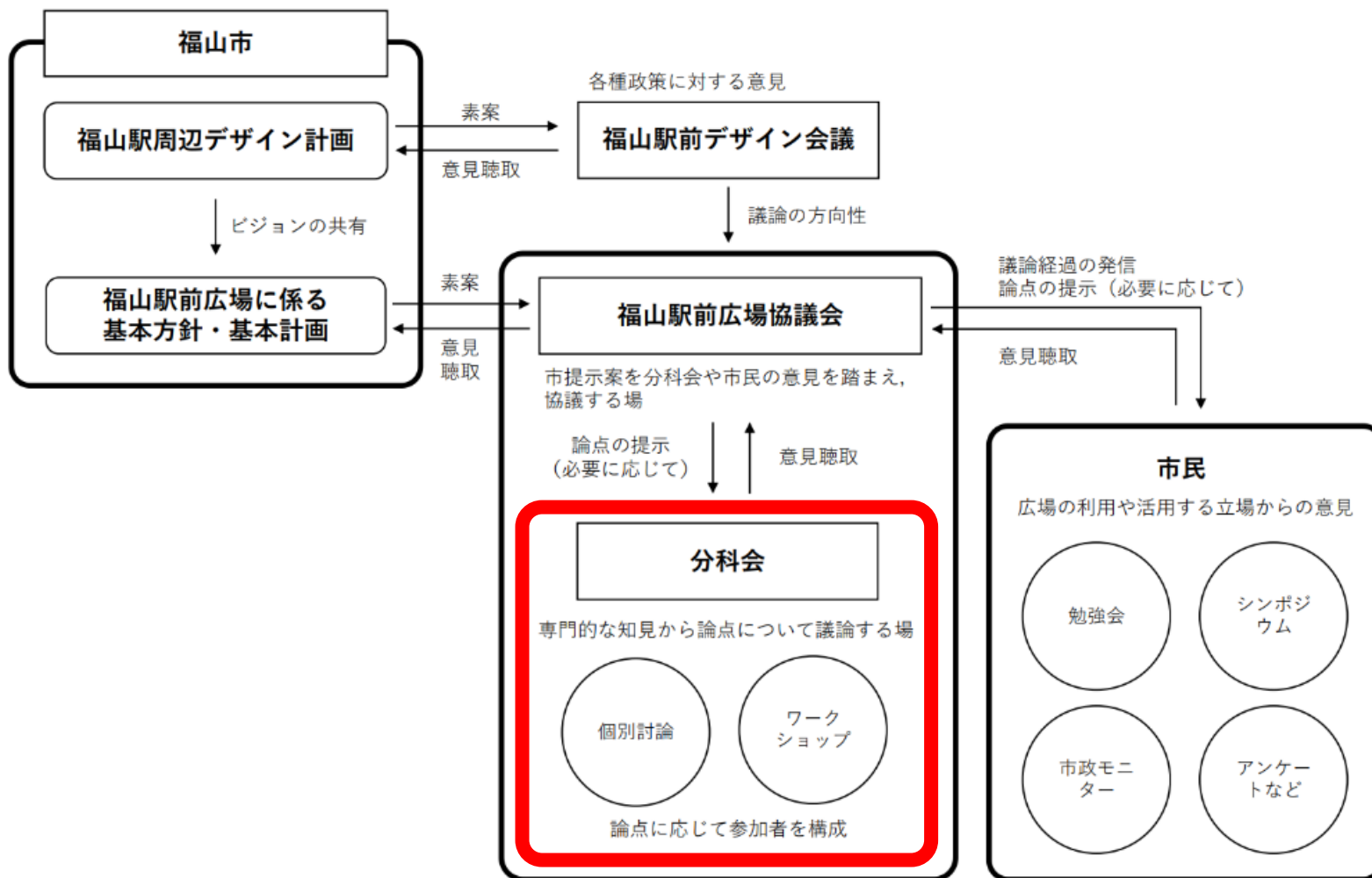
●現在の福山駅前広場



3. 福山駅前広場の検討状況について

👉 多様な関係者から幅広い意見を聴き取りながら検討する

●福山駅前広場協議会の仕組み



3. 福山駅前広場の検討状況について

👉 様々な機会を捉えて皆さんから意見を伺ってきました

Time Line	デザイン会議 協議会 分科会 シンポジウム その他	取組内容
2018.3		福山駅前再生ビジョン策定
2020.3		福山駅前周辺デザイン計画策定
2020.12～2021.1		福山駅前広場に関するアンケート調査（回答者数1,821人）
2021.2		第9回福山駅前デザイン会議「ウォーカブルな駅前広場のあり方について」
2021.3		福山駅前広場の機能検証（暫定）
2021.5		第10回福山駅前デザイン会議「ウォーカブルな駅前広場の実現に向けて」
2021.7～2021.8		第2回福山市市政モニターアンケート「福山駅前広場の今後のあり方について」
2021.8		第1回福山駅前広場デザインシンポジウム「まちを変える公共空間の作り方と使い方」
2021.8		第11回福山駅前デザイン会議「福山駅前広場の環境空間のイメージを共有しよう」
2021.9～2021.12		福山駅前広場に関するアンケート調査（回答者数5,424人）
2021.10		第1回福山駅前広場協議会「現在の福山駅前広場の問題点について」
2021.11		第1回福山駅前広場協議会分科会（交通結節機能検討）「交通結節機能の配置案について」

47

Time Line	デザイン会議 協議会 分科会 シンポジウム その他	取組内容
2021.11		第2回福山駅前広場デザインシンポジウム「市民が愛着と誇りを持てる駅前広場を考えよう」
2021.12		第2回福山駅前広場協議会分科会（交通結節機能検討）「福山駅前広場の各機能の配置計画案について」
2022.1		福山駅前広場の各機能の配置計画案（素案）の作成
2022.1		第2回福山駅前広場協議会「福山駅前広場の各機能の配置計画案（素案）について」
2022.2		第12回福山駅前デザイン会議「2021年度取組報告及び次年度に向けて」
2022.3		第3回福山駅前広場デザインシンポジウム「未来の福山駅前広場を大公開！一歩先をワクワクする駅前広場を作ろう」
2022.6		第13回福山駅前デザイン会議「福山駅前広場の検討について」
2022.6～2022.8		福山駅前広場に関するアンケート調査（回答者数5,568人）
2022.8		第3回福山駅前広場協議会「素案に対する意見の整理と今後の検討について」
2022.8		第14回福山駅前デザイン会議「福山駅前広場の基本方針について」
2022.9		第3回福山駅前広場協議会分科会（交通結節機能検討）「交通施設の配置計画の検証について」
2022.11		福山駅前広場再編実証実験（2022.11.14～2022.11.28）

48

Time Line	デザイン会議 協議会 分科会 シンポジウム その他	取組内容
2022.11		第4回福山駅前広場デザインシンポジウム「まちを変える駅前広場の使い方とは」
2023.1		第4回福山駅前広場協議会分科会（交通結節機能検討）「基本方針に示す配置計画案の評価について」
2023.2		福山駅前広場整備基本方針案の作成
2023.2		第4回福山駅前広場協議会「福山駅前広場整備基本方針（案）について」
2023.2		第15回福山駅前デザイン会議「福山駅前広場整備基本方針（案）について」
2023.2～2023.3		パブリックコメント
2023.3		第5回福山駅前広場協議会分科会（交通結節機能検討）「駅前広場の各機能の配置計画案について」
2023.3		第5回福山駅前広場デザインシンポジウム「魅力的な駅前広場をマネジメントするのはあなた！」
2023.3		福山駅前広場整備基本方針の策定

● 福山駅前広場整備基本方針の策定に係る取組

- ・ 福山駅前デザイン会議 7回
- ・ 福山駅前広場協議会 4回
- ・ 福山駅前広場協議会分科会 5回
- ・ 福山駅前広場デザインシンポジウム 5回
- ・ 福山駅前広場に関するアンケート 4回
(回答数計 約13,000件)
- ・ 福山駅前広場再編実証実験 1回
- ・ パブリックコメント 1回

3. 福山駅前広場の検討状況について

👉 実証実験による検証結果を踏まえて、基本方針を策定

● 会議やアンケートで幅広い意見を聴取



● 実証実験による検証



幅広い意見を聴取，そして検証

2022年度

福山駅前広場整備基本方針を策定

Vison
(将来像)

あらゆる資源をつなぎ、福山らしい豊かな暮らしを実現する駅前広場

～ ヒト・モノ・カネ・情報・交通をつなげ、愛着・誇り・魅力ある駅前広場へ～

3. 福山駅前広場の検討状況について

👉 駅周辺を市内外から人や企業を惹きつける魅力あるエリアへ



福山駅前再生ビジョンに示す福山駅前のイメージ
※駅前広場の整備計画を示すものではありません

魅力あるエリアに変えるため、駅周辺の核となる駅前広場を交通結節機能と都市の広場機能が融合した居心地が良く歩きたくなる空間へと転換します。

3. 福山駅前広場の検討状況について

👉 検討に当たっては、利用者目線の価値を大切にします

使いやすさ

- ・ 徒歩や車両でスムーズに移動できる
- ・ 公共交通が使いやすく、車を持たなくても暮らせる
- ・ 周辺施設との連携により、便利に使える
- ・ 新しいヒトやモノ、情報に出会えて、役に立つ
- ・ 柔軟性や可変性のある空間で使いやすい

過ごしやすさ

- ・ 誰でも簡単に様々な活動を行うことができる
- ・ 誰もが（一人でも）居心地が良く過ごすことができる
- ・ 天候によらず、使うことができる
- ・ 心地よい穏やかな光景を見ることができる
- ・ 歩いたり会話する機会が増え、健康に暮らせる

安心感

- ・ 社会的なつながりを得られる
- ・ 徒歩や車両で安全に移動できる
- ・ 防犯性の高い環境で安全に使える
- ・ 緊急時に安全に逃げ込める

福山らしさ

- ・ 福山の歴史や文化を感じられる
- ・ 福山の気候や風土との調和を感じられる
- ・ 駅周辺や周辺地域の様々な魅力を感じられる
- ・ 訪れる人々が愛着を感じられる
- ・ まちの多様性やにぎわいのエネルギーを感じられる

3. 福山駅前広場の検討状況について

👉 6つの課題解決の方向性に沿って、計画を検討します

①

歩行者と車両が安全で快適に移動できる環境整備

②

多様な人々と活動を受け入れる居心地の良い空間の創出

③

福山ならではの特徴や魅力を生かした空間の形成

④

技術の進化や交通需要の変化，多様な利活用を見据えた可変性の確保

⑤

多様な主体が活用しやすい広場の運営

⑥

多様な情報が集積し，情報の発信や交換ができる環境整備

3. 福山駅前広場の検討状況について

👉 福山城の遺構を生かした空間づくりを検討します

<福山ならではの特徴や魅力の考え方>

- ばらなど福山ならではの地域資源を生かした空間づくりを行います。
- 駅前広場を訪れる人々が福山の歴史や文化を感じられる空間にするため、福山城の遺構やそれに関連する歴史資源を大切にしながら、福山城の遺構を生かした空間づくりを行います。



ばらと福山城を生かした空間（北口スクエア）

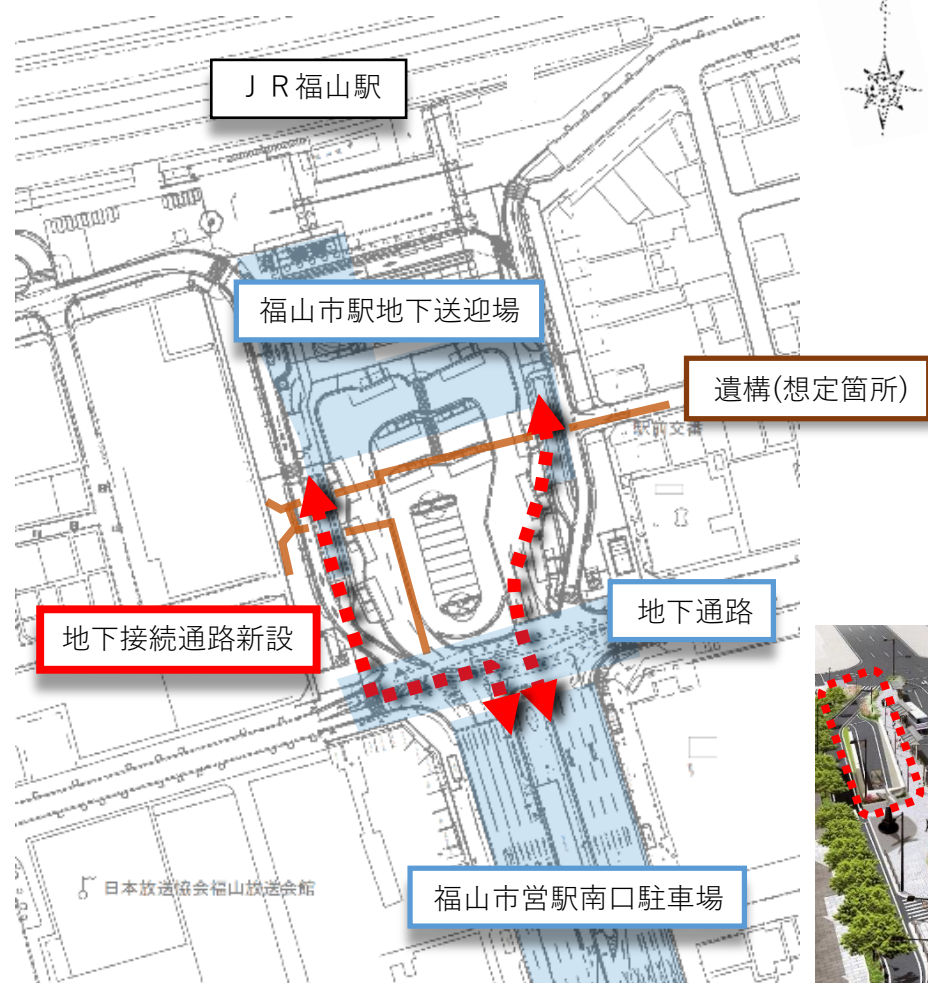


福山城の遺構

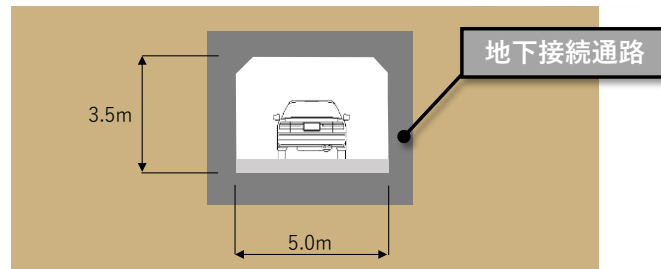
3. 福山駅前広場の検討状況について

地下送迎場と駅南口駐車場の地下接続を検討します

●地下接続通路のルート（イメージ）



●地下接続通路の構造形式のイメージ（箱型函渠）



●遺構への影響検討

- 基本方針に基づき、遺構を大切にすることを前提とする。
- 資料から遺構（石垣）の位置がある程度想定できることから、遺構の位置に当たらないルートとすることで、遺構に影響を与えずに接続することが可能と考えられる。



地下接続により、地下送迎場への出入り口を廃止により
⇒ 歩行者の回遊性を向上
⇒ 交差点の複雑な交差を解消する

3. 福山駅前広場の検討状況について

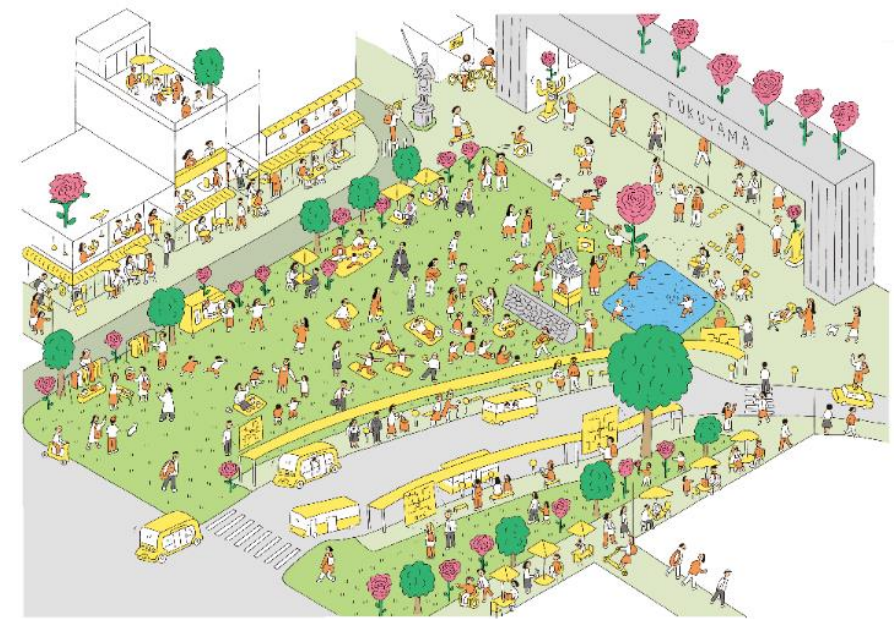
東西に分散配置する案（C案）を基本にしつつ、
全面広場化する案（D案）の実現可能性について検討を進める

各機能の配置計画

<これまで検討してきた空間配置の評価>

- ・ バース数は現状と同程度で作成
 - ・ 各車両の動線は実際の軌跡と同程度で作成
 - ・ 地下駐車場と地下送迎場の接続等を想定して作成
- 主な交通空間 歩行者動線
 まとまった広場空間 車両動線

	現状	A:北側に集約	B:東西のいずれかに集約	C:東西に分散配置（素案）	D:全面広場化
計画の考え方					
東西方向の回遊性	× 交通島や車両動線、駅前大通りにより、歩行者は迂回をしたり、地下への昇り降りが必要となる。	△	×	○ バスが駅前広場で転回することや駅前大通りを縮小することにより、交差点がコンパクトになり、歩行者が地上を渡れるようになる。向こう側のまちのぎわいを感じやすくなることで回遊の動機も促される。	◎ 全面広場化により東西の分断が完全に解消される。
広場の規模	× 交通結節機能を集約しているため、まとまった広場空間が少ない。	△	△	○ 交通結節機能を確保しながら、広場空間を最も大きく確保できる。周辺街区と接する広場空間の範囲が広くなり、周辺街区との連携強化も見込める。	◎ 広場空間を最も大きく確保できる。
実現性	—	○	○	○	△ 駅前広場外へのバスターミナルの配置が必要となる。駅周辺の開発動向によるため、実現性が不透明



福山駅前広場の各機能の配置計画案（素案）のイラスト

3. 福山駅前広場の検討状況について

👉 今後のスケジュール

2023年度（令和5年度）

基本計画（案）の検討

2024年度（令和6年度）

基本計画の策定

2025年度（令和7年度）以降

調査，設計，施工

※目標年次は計画内容によって変わるため、現時点では未定です。

1. 福山駅前広場の変遷について
2. 福山駅周辺の実組について
3. 福山駅前広場の検討状況について
4. 遺構を生かした空間づくりについて

4. 遺構を生かした空間づくりについて

👉 どのように考えていくか

- ① 本市における文化財の保存・活用の基本方針とは
- ② 史跡福山城跡の本質的な価値とは
- ③ 駅前広場にどのような遺構が埋まっているのか
- ④ 遺構を生かした空間づくりの方向性とは

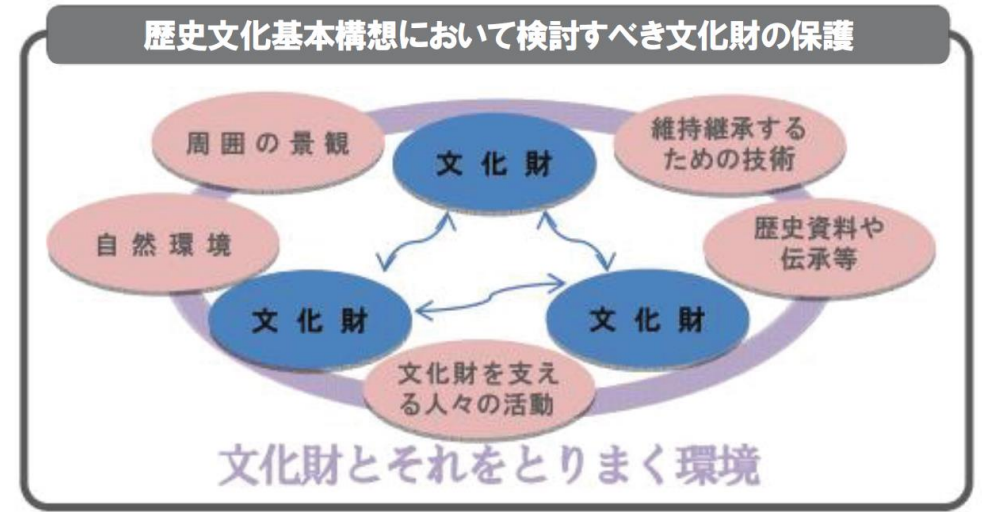
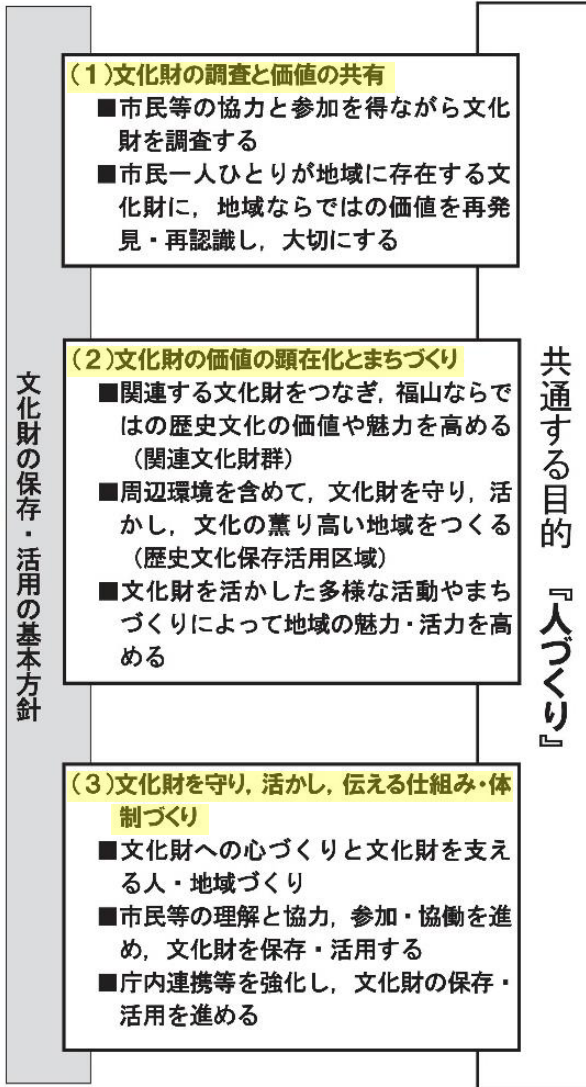
4. 遺構を生かした空間づくりについて

①本市における文化財の保存・活用の基本方針とは

●福山市歴史文化基本構想

【文化財の保存・活用の基本理念】
『瀬戸内の潮目に育まれた
先進性と交流の気質、
そして数々の困難を乗り越えてきた
英知を伝える歴史文化』

～人を育て、市民・地域で
再発見し、守り、活かし、
未来へ伝えよう～



「歴史文化基本構想」策定ハンドブック（文化庁）より

「歴史文化」とは、文化財とそれに関わる様々な要素とが一体となったものを指す。文化財に関わる様々な要素とは、文化財が置かれている自然環境や周囲の景観、文化財を支える人々の活動に加え、文化財を維持・継承するための技術、文化財に関する歴史資料や伝承などであり、文化財の周辺環境と言い換えることができる。

4. 遺構を生かした空間づくりについて

② 史跡福山城跡の本質的な価値とは



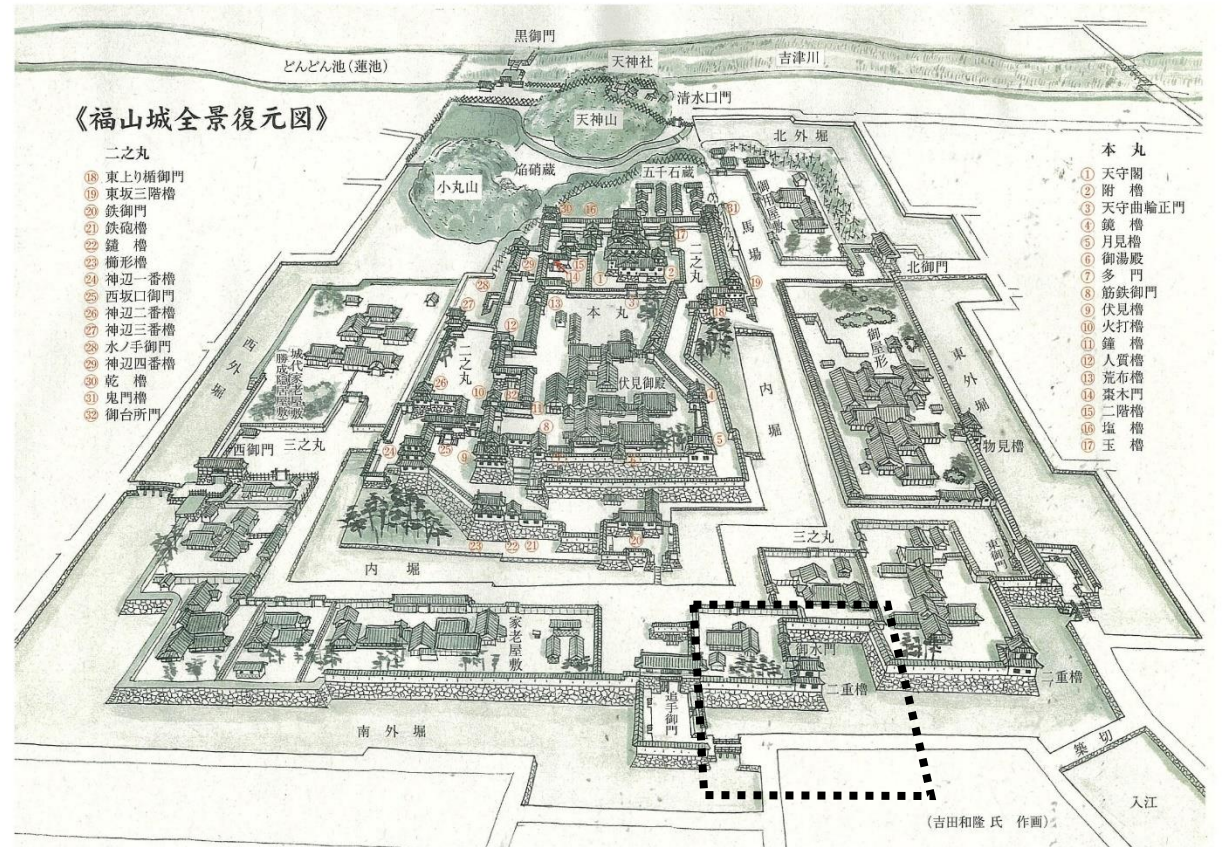
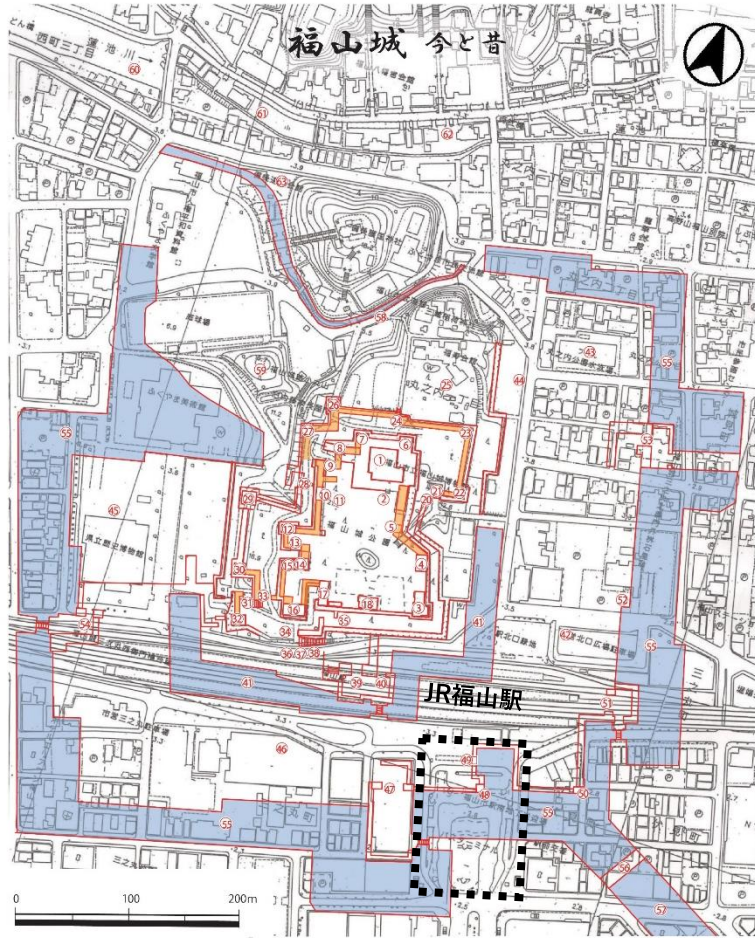
● 史跡福山城跡の本質的価値

- ✓ 日本城郭の最高到達点に位置する巨大な城
- ✓ 山を造成した三段の総石垣
- ✓ 伏見櫓等の現存建物の希少性・貴重性

史跡福山城跡保存・活用計画より

4. 遺構を生かした空間づくりについて

③ 駅前広場にどのような遺構が埋まっているのか

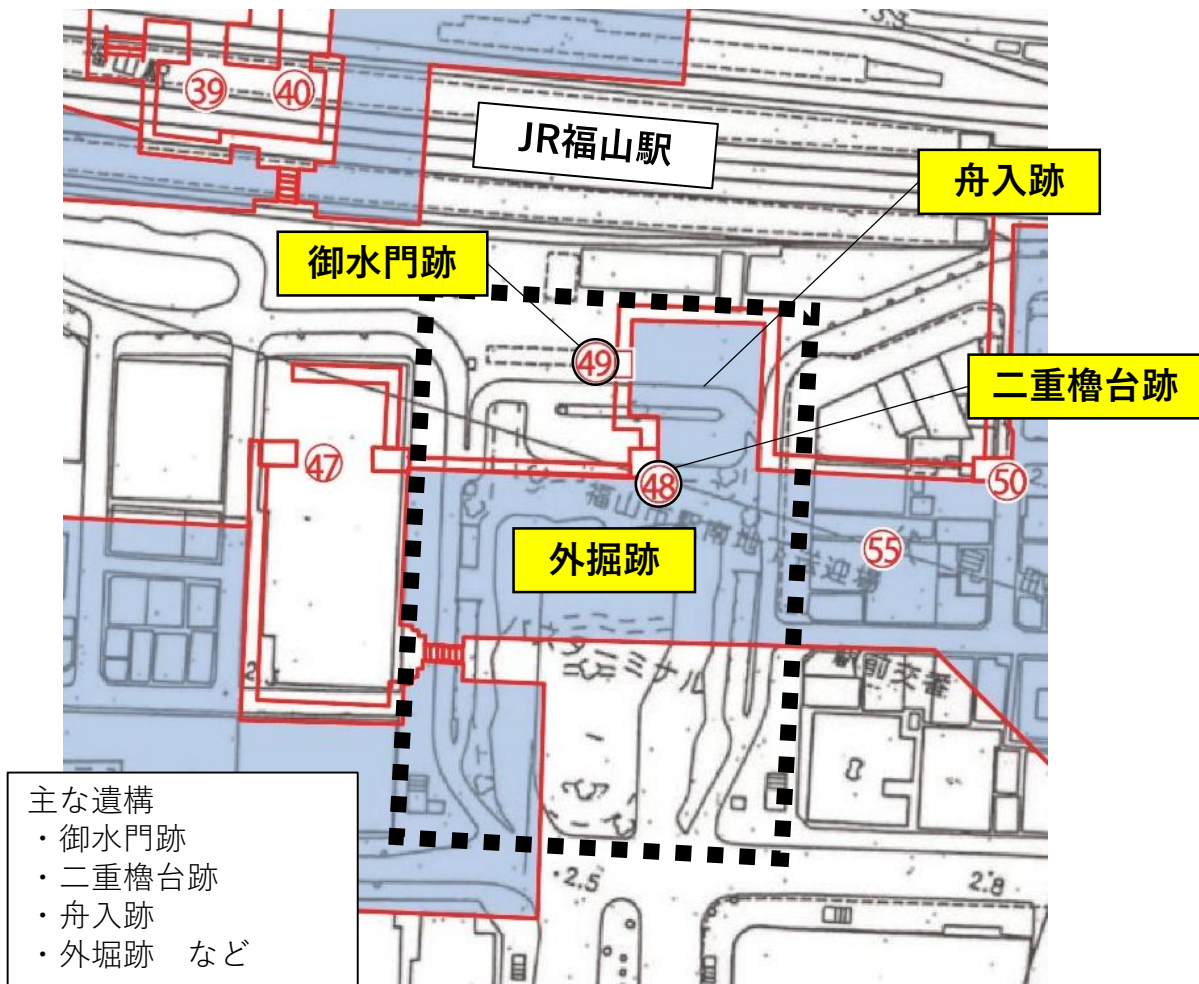


- | | | | | | | | | |
|---------|-------|--------|--------|--------|---------|-------|------|------|
| 【本丸】 | ⑧二階櫓 | ⑬伏見櫓 | ⑰鬼門櫓 | ⑳西坂口門 | ㉑鉄門 | ㉒家老屋敷 | ㉓西御門 | ㉔吉津川 |
| ①天守 | ⑭粟木御門 | ⑱筋鉄御門 | ㉒蔵口門 | ㉓神辺一番櫓 | ㉔四つ足門 | ㉕家老屋敷 | ㉖外堀 | ㉗赤門 |
| ②天守曲輪正門 | ⑲荒布櫓 | ⑳御湯殿 | ㉕五千石蔵 | ㉖西腰曲輪門 | ㉗内堀 | ㉘二重櫓 | ㉙築切 | ㉚入江 |
| ③月見櫓 | ㉑黄金水 | ㉒本丸御殿 | ㉓乾櫓 | ㉔坂上番所 | 【三之丸】 | ㉕御水門 | ㉖築切 | ㉗入江 |
| ④鏡櫓 | ㉘人質櫓 | 【二之丸】 | ㉙神辺四番櫓 | ㉚二重曲輪門 | ㉛三之丸御殿 | ㉜二重櫓 | ㉝入江 | ㉞水道 |
| ⑤平櫓 | ㉛御台所門 | ㉜鹿角築櫓 | ㉝水の手門 | ㉞御形櫓 | ㉟御用屋敷 | ㊱東御門 | ㊲小丸山 | ㊳馬場 |
| ⑥玉櫓 | ㊱御台所 | ㊲東上り櫓門 | ㊳神辺三番櫓 | ㊴西坂口門 | ㊵馬場 | ㊶物見櫓 | ㊷蘆池 | ㊸黒門 |
| ⑦塙櫓 | ㊲火打櫓 | ㊳東坂三階櫓 | ㊴神辺二番櫓 | ㊵鉄砲櫓 | ㊶城代家老屋敷 | ㊷北御門 | | |

※黒枠は福山駅前広場の位置を示す

4. 遺構を生かした空間づくりについて

③ 駅前広場にどのような遺構が埋まっているのか



※埋まっている位置は推測。詳細には発掘調査などによる位置の確認が必要

● 史跡福山城跡及び調査区遠景

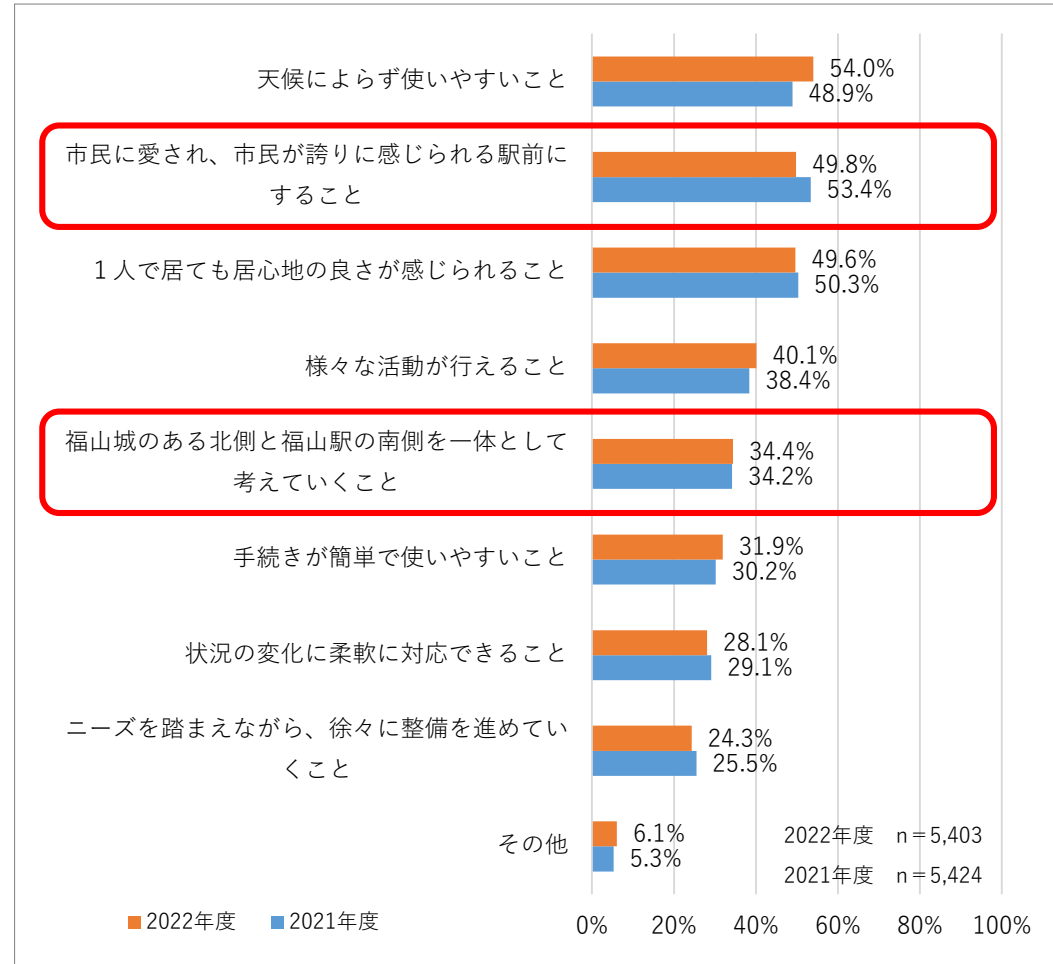


福山駅前広場整備工事（地下送迎場）に伴う第2次発掘調査報告書（2008）より

4. 遺構を生かした空間づくりについて

④ 遺構を生かした空間づくりの方向性とは

● 今後、福山駅前広場の活用を検討する際に大事になることは何か



福山駅前広場に関するアンケート調査結果（2021年度・2022年度）より

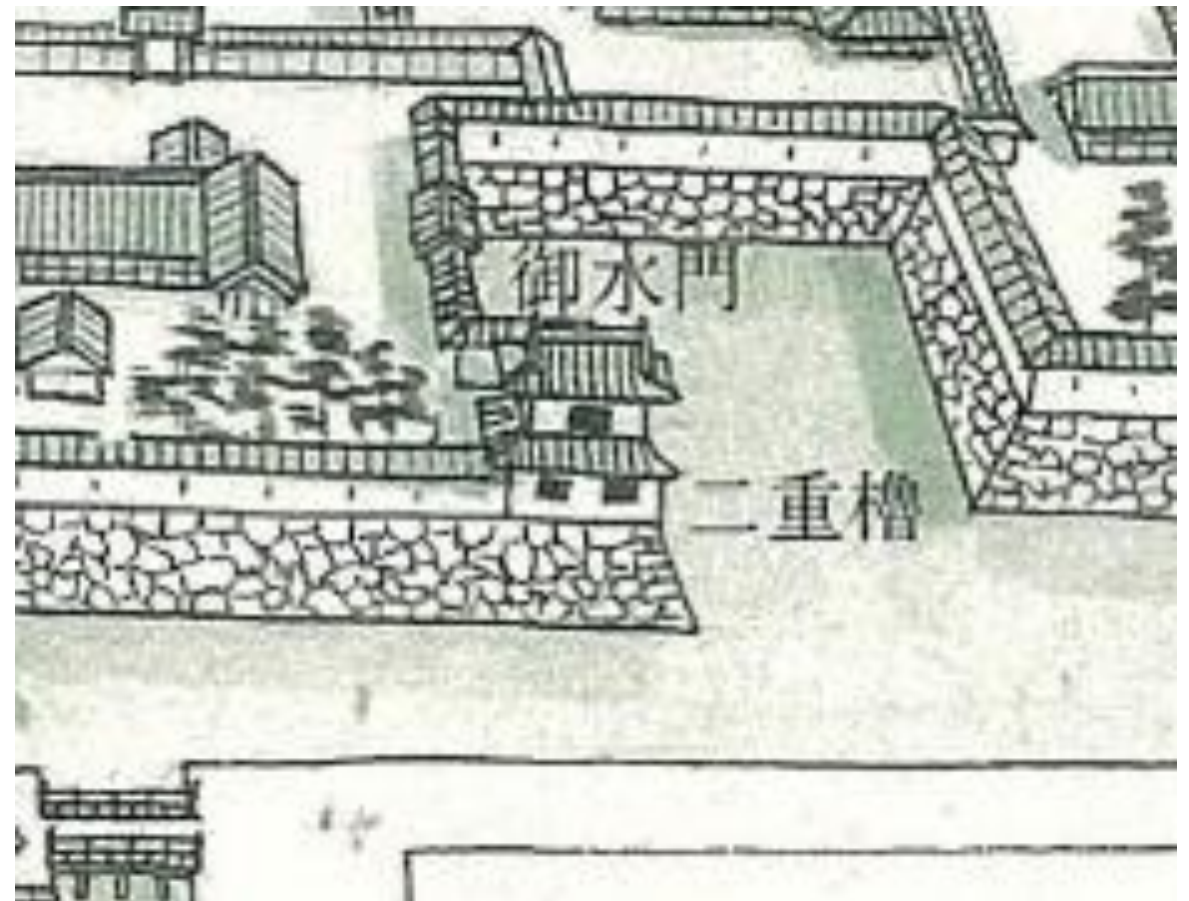
4. 遺構を生かした空間づくりについて

④ 遺構を生かした空間づくりの方向性とは

これまでに頂いた意見から主な活用方法を例示すると

● 活用方法（叩き台）

- ✓ 二重櫓の復元
- ✓ 外堀跡や舟入跡などの復元
- ✓ お堀（水を張る）など



4. 遺構を生かした空間づくりについて

④遺構を生かした空間づくりの方向性とは

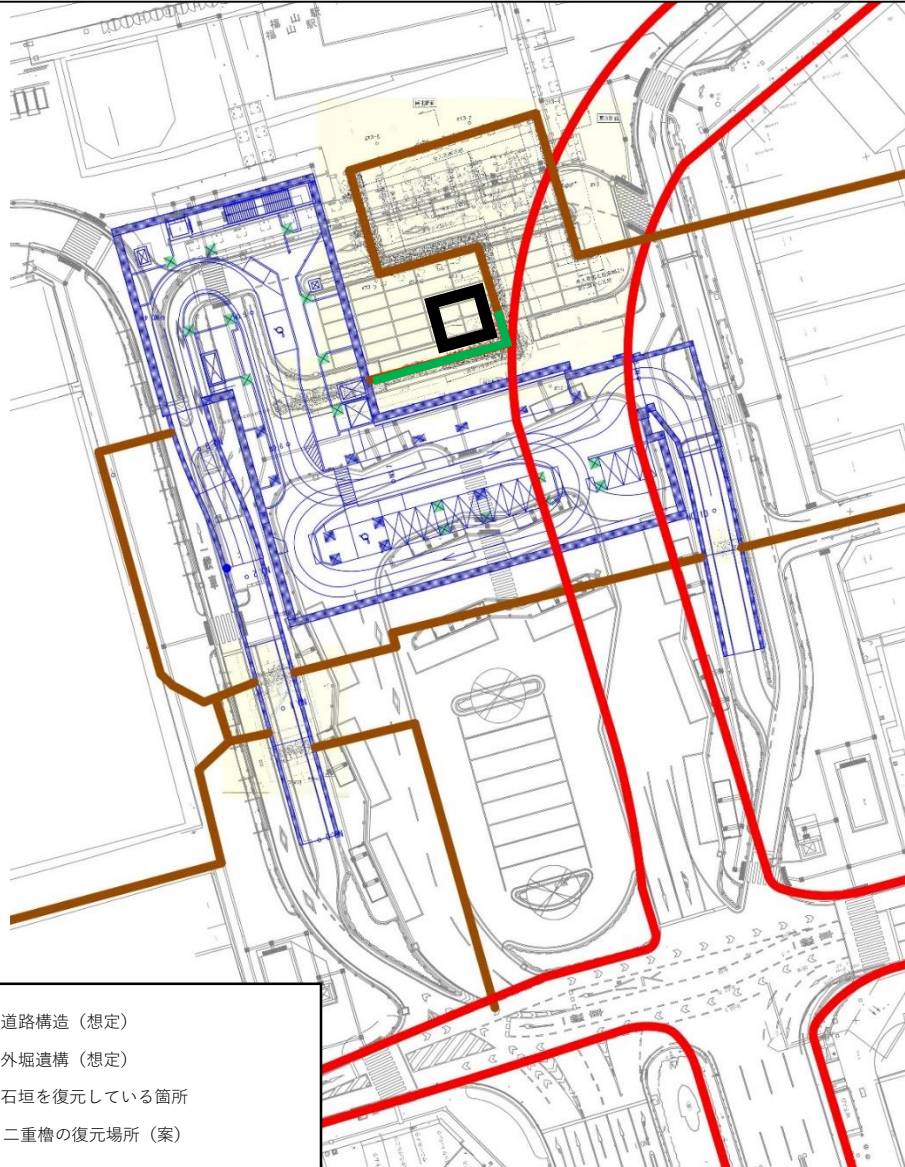
具体的な活用場所はどこか

道路計画を踏まえた活用場所の検討（C案の場合）

※地上と地下の施設配置や歩行者動線を踏まえて検討が必要

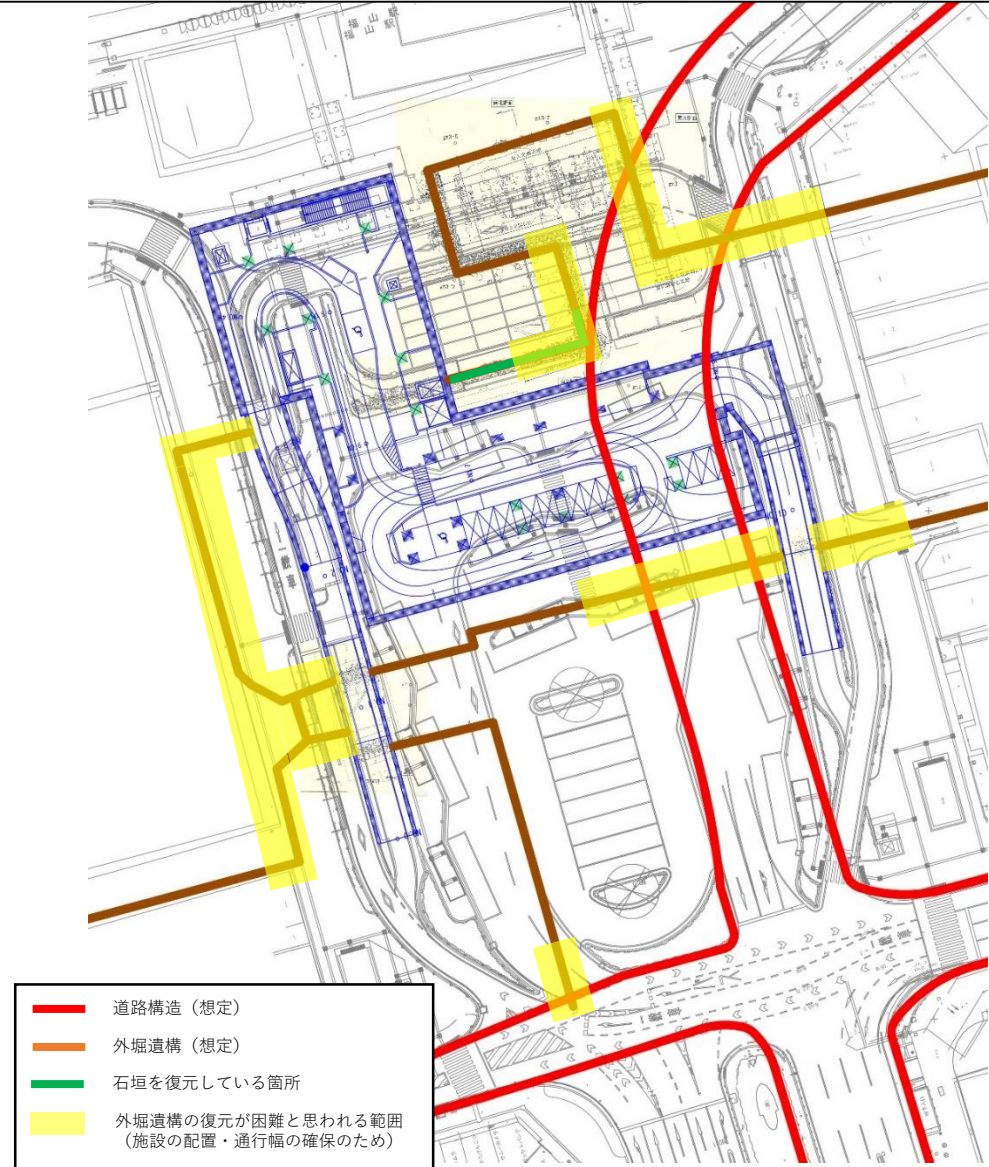
①二重櫓の復元

👉施設との離隔や歩行者動線の確保が課題



②外堀遺構の復元

👉外堀遺構を復元できる範囲は限られる



4. 遺構を生かした空間づくりについて

👉 本日も検討いただきたいこと

● 検討項目

現実的な方法を踏まえた遺構の『活用方法』

ディスカッション

●委員

清水 義次 さん 株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役（福山駅前広場協議会座長）

渡邊 一成 さん 公立大学法人福山市立大学都市経営学部教授

西村 浩 さん 株式会社ワークヴィジョンズ代表取締役

福山市自治会連合会

三之丸町町内会

伏見町町内会

福山市建設局

●オブザーバー

佐藤 昭嗣 さん 福山市文化財保護審議会 会長

八幡 浩二さん 公立大学法人福山市立大学都市経営学部教授（福山市文化財保護審議会 副会長）

池田 圭次

福山市 建設局参事
兼 福山駅周辺再生推進部長

👉 アンケートはこちらから

